

アメリカを支える個人消費の復調

米国では主要企業の第1四半期決算が出揃い、小売販売の回復が確認されるなど、活発な消費活動への期待が高まっています。

例えば、高級宝飾品を扱うティファニーの2～4月期決算は、売上高が前年同期比9%増の8億9,548万米ドル（約895億円）となりました。売上げ全体の約半分を占める米州での業績改善、なかでも旗艦店であるニューヨークでの売上げが大きく伸びた結果とのことです。また「アベノミクス」効果に伴う日本での売上げ拡大をはじめ、世界全域で期待を上回る販売成果を上げたことも大きく寄与しました。

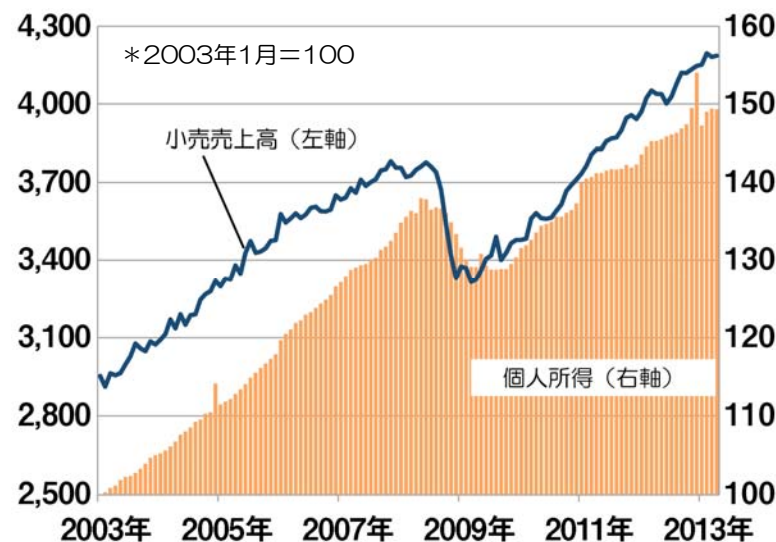
米国経済は、世界金融危機以降の落ち込みから回復を続けてきており、米国の小売売上高は所得の増加に伴い、金融危機以前の水準を上回る回復を示しています。特に足元では、好調な住宅市場により住居関連の消費が躍進。金融サービス・保険も急回復を示しています。

5月の消費者信頼感指数は76.2ポイントと、前月の69.0ポイントから大幅に上昇しました。消費者心理も改善し、堅調に推移していることがうかがえます。米国はGDPの約7割が個人消費で占められていることから、この好調なムードが続けば、今後の米国経済の成長に期待できます。

米國小売売上高と個人所得

米国消費者信頼感指数

(単位: 億米ドル)



出所: ブルームバーグ 2003年1月～2013年4月



出所: カンファレンス・ボード消費者信頼感指数

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものでもありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。

<審査番号: 101176.OTHER.MED.OTU> © 2013 Goldman Sachs. All rights reserved.